



子どもたちが自慢できる学校を！

大塔っ子

佐世保市立大塔小学校

学校だより 校長 酒井元治

令和4年度 第6号 8月29日発行

とびだせ大塔っ子！はばたけ大塔っ子！（2学期始業式の話、地域へのご協力のお願い）

以前、この「大塔っ子」でもお伝えしたことが、大塔小の子どもたちは総じて落ち着いていて、いわゆるまじめな子が多い。しかし、他人を見て動く傾向の子が多すぎるのが課題である。このことを含めて2学期の始業式では「人の顔を見て動くのではなく、自分で考えて動くこと」、「とびだせ大塔っ子！はばたけ大塔っ子！」と題して話をした。

と言ってもじゃあ実際に子どもたちには「何からやればいいの？」ということになるので、まずは地域での挨拶からだ。本校の子どもたちの登校の様子を見てみると、ある方が「葬儀の列みたい」と例えたように、きちんと並んで登校しているものの、地域の方が挨拶をしてくださっても挨拶を返さない子が多いことに愕然とした。みんながしないから恥ずかしいという同調意識を感じ取ることができる。

では、どうして挨拶は大切なのか？このことから子どもたちに話をした。人と人が触れ合うコミュニケーションにおいて、どこの国でも挨拶はその始まりだからだ。

私が3月までベルギーにいたことは既にお話したことが、10階建てのアパートの9階を借りていた。同じ並びの5階には80歳ぐらいであろうと思われる現地の老夫婦が住んでいて、そのご婦人とよくエレベーターでいっしょになった。ベルギーの公用語はフランス語、オランダ語、ドイツ語で私の住んでいたブリュッセルはフランス語圏だったが、私はフランス語がほとんど話せない。「ボンジュール（おはよう、こんにちは）」や「ボンソワール（こんばんは）」とあとわずか。それでもこのご婦人と挨拶を交わしていると、私が片言の英語しか話せないことを知って、向こうも片言の英語で返してくれる。「アパートのゴミはこうすればいいのよ。」とか「新年の挨拶はフランス語でボナネって言うのよ。」といった具合だ。

また、5年ほど前に青森に出張に行く機会があった。出張で何泊かするとき、私はホテル近くの居酒屋などを見つけて連日夕食のご厄介になる。そうすると店の方や常連さんと仲良くなって面白い話も聞くことができる。この青森でも、長年船乗りをしていたという老紳士と出会った。何か国も周り、いろいろなところで知り合いができたそうだ。「そんないろんな国だったら言葉が違うでしょう。何か国語も話せるんですか？」と私が訪ねると、「そんなもん、挨拶さえできればどうにかなるんだよ！国によっては挨拶もしないで店に入ると泥棒と間違われるんだから。」という答えだ。むろんそれだけとは思わないが、挨拶から始まるコミュニケーション力の高さを感じる。

ゲーム慣れしている子どもたちの言葉で言えば「挨拶はコミュニケーション必須のアイテム」だ。逆に言語が堪能でも挨拶もできなければコミュニケーションは始まらない。人の顔をうかがってこの最強のアイテムを身に着けないのはもったいなさ過ぎる。大塔小の子どもたちにはよいと思ったことは思いっきり実践できる力をつけたい。その手始めは地域での挨拶だと思う。

ただ、地域での挨拶となると私がいく

みんながじまんでできる学校



じぶんでいいと思ったことは
どんどんやっていこうよ！

とびだせ
大塔っ子！
はばたけ
大塔っ子！



みんながじまんでできる学校

あいさつは
コミュニケーションで
最強のアイテムです！



そんな 素晴らしい
アイテムを
人を気にして
つかわないなんて
もったいない！



ら全校児童の前（実際はリモートだが）で熱弁したとしても、学校から見えないところでの実践となる。

そこで、保護者の皆様や地域の方々をお願いしたい。どうぞしつこいくらい登下校の子どもたちに声をかけてください。何日も何日も声をかけていただいて少しずつ変容が見られるものかもしれません。期待通りに変わらないかもしれません。それでも私たち大人がしつこく子どもたちに関わることでどこにも負けない「挨拶の町」をつくっていきたいと思うのです。学校だけでできることではありません。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

（イラストは始業式で使ったスライドです。）

8・9月行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
30	火	身体測定 1年	6	火	身体測定 4年
31	水	委員会活動 6校時 身体測定 2年	7	水	集団下校 6校時カット
1	木	身体測定 5年	14	水	宿泊学習 5年（～15日）
2	金	身体測定 6年	19	月	㊦敬老の日
5	月	身体測定 3年 校内夏休み作品展（～9日）	23	金	㊦秋分の日 佐世保市夏休み作品展（～26日）
			28	水	代表委員会

夏休み作品のご案内(9/5～9/9)と授業参観の中止

既に夏休み中、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点より、9月の授業参観を中止する旨を伝えておりました。お仕事のお休み等、予定をされていらっしゃるかどうかと思いますが、市内の陽性者の増加傾向やこれまでの本校の授業参観の様子を見てこのように判断させていただきました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

その一方で、子どもたちが夏休みにがんばった「夏休み作品展」は例年通り開催いたします。感染予防をされた上でのご観覧をお願いいたします。

展示期間 9月5日（月）～9月9日（金） 8:25～18:00

会場 大塔小学校体育館

* 他のお子さんの作品を撮影し、SNSで拡散するなどの行為は禁止します。



新型コロナウイルス感染予防に関わって

夏休み直前、陽性者の急激な増加傾向を見ながら、「夏休みを明けるころには、減少傾向に転じているのではなかろうか…」との希望的な観測もむなしく、以前高い数での陽性者の報告があります。これから学校では10月下旬の運動会に向けて、「運動場ではマスクはとるが、個々の距離をとる」など、感染予防+熱中症予防に努めながら練習を進めていきたいと思っております。

さて、ニュースでは全国的に陽性者の「全数把握」を見直す話があがっています。しかし、学校ではこれまで通り陽性者はもちろん、濃厚接触者、ご家族に体調不良がある場合などは登校できないことになっております。また、教育活動を進めるうえで状況の把握は大切なことです。ご面倒ですがこのような場合は、学校までご一報いただきますようお願いいたします。

長期にわたる感染予防で保護者の皆様にも大変なご苦勞をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

